



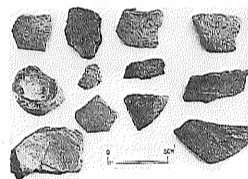
柳之宮の地名 その昔

柳之宮 現八潮市大字柳之宮、中央、緑町... 柳之宮は、綾瀬川左岸の沖積地に位置し、綾瀬川の自然堤防上に近世集落が発展した村落であった。地名の起立は、柳之宮村の鎮守水川神社境内に柳の大木が繁茂したことに因むと言われる(八潮の民俗資料三)。(原始・古代) 綾瀬川が寛永七年(一六三〇)に屈曲部が改修されるまでは、西へ大きく蛇行し流れていた。綾瀬川の蛇行の微高地(自然堤防)

く、自宅の構を埋め立てたときに、約一メートルぐらいたら出土したもので、炭素年代測定で九三五年頃のもので見られている(八潮市立資料館蔵)。柳之宮の地名は、古墳期から平安前期にかけて土着した民らが用いた集落地名と推測される。柳之宮村 近世初期から明治二十二年(一八九〇)までの村名。中世の柳之宮は崎西庄八條郷内に属した。そのためか崎玉郡(崎西庄)の産土神である久伊豆神社が、明治末年まで水川神社境内に「久伊豆社」が祀られていた。柳之宮、西袋の久伊豆社は、崎玉郡の西側のうちでは、郡最南端の久伊豆神社であった。柳之宮村西袋新田が近世初期に村切りし独立村となるが、水川神社は両村の鎮守として祭祀し、現在に至る。近世初期からは徳川幕府領で、寛文十年(一七二〇)五月二十六日に若年寄土井利勝領、天和二年(一六八二)三月十六日に幕府領に服し、明治維新

まで代官支配地であった。寛永七年(一六三〇)に綾瀬川の蛇行部分が直道に開削され、村は二分されると川西・川東と呼ばれるようになった。隣村は、北は後谷村、立之堀村(草加市)、西は綾瀬川を隔てて足立郡吉笹原村(草加市)、東は上馬場村、南は西袋村などと接し、東西一町・南北六町と南北に長い村である。検地は寛永四年(一六二七)と貞享元年(一六八四)。貞享元年の石高一〇三石一斗六升五合、反別一六町九反二歩、内田が七町四畝一五歩の畑作優位の村落。石盛りは田が上二・中九・下六、畑が上九・中七・下五・屋敷一〇。宝暦三年(一七五三)に古綾瀬川跡の新田開墾地が検地を受け、高一石二斗四升。天保六年(一八三五)次の総村高は一〇四石三斗六升九合、総反別一七町七畝一五歩、家数一七軒、人別一二人、名主役高が二八石八斗五升六合であった(八条領村誌)。旧家の狩野家は、代々柳之宮村の名主を

勤め、「狩野与左衛門」(八潮市史)は伊奈家の郷手代を勤めた家でもあった。明治期の柳之宮村は、明治二年(一八六九)に小菅県、同四年に埼玉県となる。同十二年の郡制の実施に伴い、南埼玉郡柳之宮村となる。郡制施行前(明治九年)ごろの村勢は、戸数二三軒、人口一三四人、馬二頭、物産は米九八石、大麦六〇石、小麦三石余、大豆一五石、小豆二石七斗であった(武蔵国郡村誌)。同十二年の町村制の実施に伴い、南埼玉郡八幡村の大字となり、現在に至る。



柳之宮西袋水川神社出土遺物

文芸欄

呉美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。【応募先】〒3408588八潮市中央一丁目一八潮市役所広聴広報課広聴広報係

詩

義妹 伊草 阿部郁子 「阿部さん、宅急便ですよ」 秋田からりんごが送られてきた 夫の弟の妻からだ。彼女は秋田県の小さな村で食料品を営んでいる。 朝は五時に起き町まで仕入れに行く そして店番と家事と子育ての日々だ 病氣勝ちな夫を気遣って暮している 化粧をせず、着飾ることも少ない お礼に何か送りたいと電話すると 元気な声が聞けるだけでいいと言っ りんごは故郷の味と彼女の優しさを いっしょに届けてくれた。

短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃 餅食えぬ正月ありき祝いの膳 囲むうからに遠き日を言う 二丁目 田中忠 雲ひとつなき列島のお正月 初日を拝むころあらたに 南川崎 伊本則子 シルバーカーかたわらに置く談笑を やわらに包む冬の日はしは 南後谷 杉村セツ 初詣で行く道すがら遙かなる 富士を仰ぎて心新たに 古新田 横田八重 風邪をひきぐずりて眠る孫の頭 早く治れとなでつつ祈る 南川崎 小野塚喜代子 金色の輪は広がりて昇りくる 初日の光わが目を射ぬく 夫作りし数多の野菜食しつ 新しき年の健康願う 八潮八 浅田淑子 千年は夢か現か幻か

俳句

今蘇る源氏の世界 柳之宮 平沼良子 那智山に一番札所訪ぬれば 朝の冷気に凍と滝落つ 八潮三 豊田好一 デイサービストランプ遊びに熱中し たまに勝つては喜色満面 二丁目 田中祐子 ふつくと黒豆煮えてます 姑に 甘味の舌を今年も問えり 木曾根 高谷多門 あの世でも呆けているのか母が来て 「暑いですわね」と冬の夜の夢 二丁目 田中元三 高速道行けばはるかに雪雲の 湧き立つあたり吾が里があり 二丁目 平井石龍 明けやらぬ巻に響く初太鼓 春泥を浴びて笑顔の道祖神

中央一 山角微陽 鴨外荘真白き障子の深木目 永らえて十二月八日の顔洗う 八潮五 西森八重子 いっせいに落葉駆けだす風の向き 八潮七 石井忠枝 予定表また白きまま三ケ日 八 杉村知香 日脚伸ぶ屋根暮く人の未だ在り 緑町五 加藤龍子 芳しき墨の香りや初視 鶴ヶ曾根 平本愛子 初雀声健やかな朝の窓 柳之宮 尼ヶ崎友江 気忙ししはし忘れて袖子湯かな 八潮五 林 悦子 初笑い母に似たるや姉の声 緑町五 藤波ふみ 青菜採る畑に一筋初茜 八潮五 広瀬キク江 泣き疲れ寝る孫の手もみじの手

八潮七 小倉孝義 携帯電話持ちて晴れ着の成人式 南後谷 小田三重子 一つ落ちまた一つ落つ冬椿 大曾根 椎野さち子 初春や田舎裏に思ふ郷の雪 八潮七 鈴木義鳳 水雨降り寒さしみ入る術後の身 八潮七 茂村つ留 北風に力いっばいペタル漕ぐ 大曾根 小倉義孝 アラスカを指して巣立つあほう鳥 中央三 宇都木勝子 大根を軒に並べて冬支度 鶴ヶ曾根 斉藤初子 譲られて席の温も初地蔵 初詣で七十路の鈴しかと振る

行きたいな となりまち 松伏町 越谷市 三郷市 吉川市 草加市. Includes event listings for each city such as 'アンサンブルオーケストラ・エローラ' in Matsubuchi and 'サンシティクラシック・ティータイムコンサート' in Egoshi.



八潮の地名考

郷土の歴史 343

柳之宮の地名 その式

大字柳之宮 明治二十二年(八六)四月から現在に至る八潮地域の大字名。明治二十二年の町村制の実施に伴い、南埼玉郡柳之宮村が南埼玉郡八幡村大字柳之宮となり、現在に至る。

と、深田を表す場合もあり、田植えをするとき、股まで沈み苗を植える水田に因むのか。百田苗耕地は、往時の綾瀬川の氾濫原で、河床跡が新田開発された地域である。そのため深田の地域(ももた)の呼称が、分布量の多さを表現する百田の文字が当てられたか。とは言え、百田苗耕地には、ほぼ百枚ほどの水田が分布していた。

宇川向 川向は、本村からみて川の向こうに因む。曾て綾瀬川は、荒川の本流で、足立郡と埼玉郡の郡境をなし、柳之宮付近で大きく西へ蛇行していた。慶長五年(一六〇〇)ころに荒川の本流を忍川(現元荒川)へ注ぐと、綾瀬川が減水し、流域の新田開発が盛んに行われた。そして寛永七年(一七三〇)ころに柳之宮村から西袋村の綾瀬川の蛇行部分が直道に開削され、集落が二分された。柳之宮のムラ人が多い地域から見ての「川向こう」の呼称が、明治初年の地租改正のおり耕地地名となり、現在の宇川地名となっている。

宇屋敷通 宇屋敷通は、南後谷から上馬場に至る道路の「屋敷通り」に面する地名に因む。近世期の小名「屋敷付」の一部で、地番は六七番地から二六五番地の区域。

宇天神 宇天神は、小作田宇天神耕地への飛び地の二筆(八六三・八六四番地)、地名は伊草天神神社の前方に因む。

宇天神 宇天神は、小作田宇天神耕地への飛び地の二筆(八六三・八六四番地)、地名は伊草天神神社の前方に因む。

文芸欄

呉美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。【応募先】〒3408588八潮市中央1-21-1 八潮市役所広聴広報課広聴広報係

詩

残り火 古新田 一倉恵美
黒縁の額のなかの
礼服でちよつと気取っているあなた
あれから二十七年
あなたは少しも年を取らない
二人で手をとり合つて歩いた
若い日の旅
その灯が私のなかでまだ燃えている
「さあ、出かけよう」
夫の声だ
振り返ると、ロウソクの灯が
チラチラと揺れていた
ふきのとうの慎しやかに土掻く

短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃
ふきのとうの慎しやかに土掻く

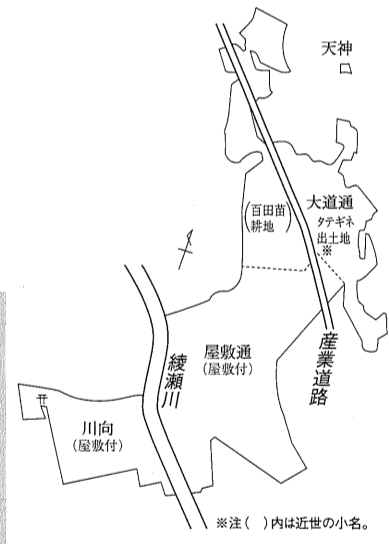
初詣見上げる月は冴えわたり
卯年のおみくじ吉と出にけり
浮塚 金子壽一

俳句

二丁目 平井石龍

日向ぼこ唄う軍歌も独り言
独楽飛ばす紐に命のある如く
八條 杉村知香

遠刈田(けし)の里や雪深し
大曾根 椎野さち子



※注()内は近世の小名。

草加市

○葛西用水沿いの桜並木
4月上旬が見ごろです。葛西用水沿いの両側に咲く桜の並木(437本、1300メートル)は樹齢約25年。
交通 東武伊勢崎線松原団地駅からバス八潮団地行き「南青柳」下車徒歩3分
問い合わせ 草加市観光協会(商工課) ☎22-0151 ④3662

三郷市

○土曜の午後のコンサート
VOL. 4 「真珠のハーモニー」
日時 3月13日(土)、午後2時から
場所 三郷市文化会館
内容 優雅な音色のハーブに、身近なリコーダーを加えたコンサート
費用 一般1000円・高校生以下500円
問い合わせ 三郷市文化会館チケットサービス ☎58-9900

行ってみたいな となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

吉川市

○市民農園利用者募集
家庭菜園に挑戦しませんか。道具の貸出しや初心者の方の相談も受けます。ぜひ、ご利用ください。
場所 吉川市上内川1605-1
費用 年額で、30平方メートル・1万5000円、50平方メートル・2万5000円
利用期間 利用開始日から平成13年3月31日
申込み・問い合わせ 農政課窓口(直接申込み(区画数)に限りがあります) ☎82-5111 ④241

松伏町

○春休み子ども映画会
日時 3月30日(火)、午前の部：午前10時開演、午後の部：午後1時30分開演
場所 松伏町中央公民館「田園ホール・エローラ」
内容 映画「フランダーズの犬」(103分)
費用 無料(整理券必要) 3月1日(月)から教育委員会・中央公民館・赤岩地区公民館・B&G海洋センターで配布
問い合わせ 教育委員会生涯学習課 ☎91-2711

越谷市

○第15回越谷市郷土芸能祭
日時 3月14日(日)、午後12時15分～4時20分
場所 サンシティ・小ホール
内容 囃子、神楽、木遣り、太鼓など越谷に誇る伝統的芸能の発表
費用 無料
問い合わせ 教育委員会社会教育課 ☎63-9283